

のりちゃんマシ

信愛幼稚園園長通信 NO.12

2025 年 4 月 19 日

発行：横田 法子

2025 年度がはじまりました。29 名のゆりさん、転入園児を迎え 24 名になった
はらさん（進級の自覚がそうさせるのか、色のかわった名札と帽子をほこらし中に
「ゆりぐみさん」「はらぐみさん」の顔になっているので驚き）、そして 22 名のち
ゅうりっぷさんを迎えて 75 名でのスタートです。2025 年度、どうぞよろしくお
願いします。

入園式で讃美歌「球根の中には」を歌いました。2024 年度 3 月の讃美歌でした。

♪ 球根の中に花が秘められ さなぎの中からのちははたく
寒い冬の中 春は目覚める その日その時をただ神が知る ♪

芽がいつ出ていつ花が咲くのか、さなぎからいつ羽化するのか、外から把握しかね
るように、こどもの内面がどのような成長段階、準備段階にあるのか、特に心がどの
ような状態なのか把握し尽くすことはできません。解らないながらに私たちができる
ことは、それぞれのお子さんに秘められているものがあると信じることに、伸びるた
めの環境を適切に整え必要としている養分を適度に与えられるようによく観察する
こと、「その日その時」を待つこと、そして他の子と比べないこと。「成果」
が現れ出るまでに費やす時間も、それに必要なはたらきかけも、ひめられたものさえ
も、皆が一緒というものでもないのです。

最近読んだ文章に、こどもが「園に慣れる」とは、こどもの内側に備わっている
ものが出せるようになることだと書かれていました。こどもに備わっているものは、
おとなの目におりこうさんに映ることばかりではないはずで、おりこうさんすぎる
と「大丈夫かな？」と心配になります。おとなの顔色をうかがうことなく気持ちも
行動もあるがままに表出していく中でこそ、さまざまな失敗体験と成功体験を重ね
ることができるのであり、その積み重ねが「育ち」につながるのです。

大人の思う通りにはいかないことも困ったこともあってこそ「順調」です。新
学期のスタート、緊張し頑張りすぎてしまっている向きも伺えます。もっと慣れて、
いろいろな表情、気持ちもあるがままに出して「順調」に園生活を送ってくれると
良いなあと思います。それをどーんと受けとめる教職員集団でありたいと思います。